

2026年度 名古屋大学宇宙地球環境研究所

06) 「研究集会」公募要項

1. 公募事項

宇宙地球環境に関する研究集会（国内・国際研究の両方を含む）を募集します。オンライン形式での研究集会の支援も行います。

2. 申請資格者

- ① 日本国内の国・公・私立大学及び国・公立研究機関に所属している研究者（学生は含まない）、またはこれらに準ずる研究者
- ② 本研究所長が特に適当と認めた者

3. 申請方法

- ① 本公募要項に記載される研究集会の開催を希望する場合は、研究代表者を定め、研究集会の目的、名称、開催予定期間、その他申請事項について事前に本研究所の受入責任教員（特任教員を除く常勤の教員）と十分な打ち合わせをしてください。
- ② 対面形式の研究集会の開催場所は、名古屋大学東山キャンパスを原則とします。ただし、本研究所の関連施設や研究代表者の所属機関の所在地での開催も認めます。それら以外で開催する場合には、その理由を申請書に記してください。
- ③ オンライン形式の研究集会の実施も可能です。オンライン形式で研究集会を実施する場合、開催に必要なソフトウェア（ZOOMやSpatial chatなど）の契約費用の補助を行います。ソフトウェアの使用理由や契約期間を申請書に記してください。
- ④ 申請は、"Joint-Research On-line Integrated System (JROIS)" 共同利用・共同研究申請サイト（<https://jrois2.isee.nagoya-u.ac.jp>）から行っていただきます。申請書の書式ファイルは以下のURLからダウンロードできます。

ダウンロードページ：<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/co-re/co-re-application.html>

- ⑤ 申請に当たっては、予め、上記の JROIS サイトにおいてログイン ID の取得が必要です。ただし、過去にログイン ID を取得された方は、同じ ID で今年度もログインが可能です。新規に申請される方は、ログイン ID 申請後、パスワード発行の e-mail が届きます（この e-mail のスパムメールへの振り分けにご注意ください）。取得した ID でログインし、「06) 研究集会」の応募ページで、課題名を入力し、所内受入責任教員をリストから選択した後、作成した申請書（別紙様式 06）を Zip ファイルにしてアップロードし、申請期限までに提出してください。グレーアウト部分は入力不要です。
- ⑥ 本研究所が主催する研究集会が対象です。単独主催でなくても可能ですが、その場合には他の主催・共催機関を申請書に明記してください。
- ⑦ 海外からの招聘経費が必要な場合は、氏名・所属と予算を別紙（任意様式）に明記してください。（研究集会に招聘する目的以外の外国人の招聘経費については、別に公募する「02) ISEE International Joint Research Program」に申請してください）。
- ⑧ 2024 年度から、5 つの参画機関（国立歴史民俗博物館、山形大学高感度加速器質量分析センター、九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設、名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター）と連携し、共同利用・共同研究システム形成事業～学際領域展開ハブ形成プログラム～「宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結ぶ超学際ネットワーク形成」を開始しました。本プログラムでは、激甚太陽嵐の現代文明への影響の評価や、新しい正確な年代決定による歴史学・考古学の新展開を図り、宇宙に広がる持続的な発展型社会の形成と次世代人材育成を目指します。このたび、この「超学際ネットワーク形成」を推進する文理融合型超学際研究を広く募集いたします。この提案を行う場合には、申請書の「(4) 関連する専門委員会」の欄で「7: 超学際ネットワーク形成」を選択し、「超学際ネットワーク形成」を推進する研究として応募する理由を(15)に記載してください。詳細は以下の URL をご覧ください。

超学際ネットワーク形成ホームページ：<https://transeha.isee.nagoya-u.ac.jp/>

- ⑨ 第4期中期計画期間（2022-2027年度）においては、共同利用・共同研究の多様化と新たな展開を目指し、申請者による提案型の「融合研究」「萌芽研究」を積極的に支援します。宇宙科学と地球科学、あるいは他の分野との融合、新しい分野の開拓を通して、これまで実現できなかった課題（グランド・チャレンジ）に挑戦する提案を歓迎します。この提案を行う場合には、申請書の(5)の該当欄に「1」を入力し、(16)に具体的な内容を記載してください。
- ⑩ 研究代表者としての「06）研究集会」での申請は、1人1件とします。ただし、⑨の「融合研究」「萌芽研究」の提案を行う場合は、合わせて2件までの申請が可能です。また、他の共同利用・共同研究カテゴリ（「04）一般共同研究」など）にも同時に申請することができます。

4. 研究集会日程

2026年4月1日から2027年3月31日までの期間から選んでください。ただし、原則として土、日、祝日は除きます。

5. 申請期限

2026年1月15日(木) 期限厳守

6. 審査

- ① 申請課題の採否は、共同利用・共同研究委員会専門委員会（総合解析、太陽圏宇宙線、電磁気圏、大気陸域海洋、年代測定、航空機利用）及び共同利用・共同研究委員会の審議を経て、本研究所長が決定します。但し、「超学際ネットワーク形成」を推進する研究として応募された課題は、超学際ネットワーク形成推進室及び共同利用・共同研究委員会の審議を経て、本研究所長が決定します。
- ② 共同利用・共同研究委員会専門委員会は、必要に応じて研究代表者から説明を聞くことがあります。
- ③ 審査結果については、2026年3月下旬までに研究代表者あてにe-mailで通知します。

7. 所要経費

- ① 本研究集会の申請経費は、1件あたり30万円を上限とします。
- ② 研究集会に必要な経費を積み上げ、上限額以下で申請してください。
- ③ 研究集会に必要な旅費は、精算払いとなります。
- ④ 研究集会に必要な経費（消耗品費）の支出に当たっては、研究代表者の所属機関（または本研究所）の経理担当者等による検収が必要となります。
- ⑤ オンライン研究集会の開催に必要な経費（必要なソフトウェアの契約費用など）については、申請書作成時に「必要な消耗品等」欄に入力してください。
- ⑥ 研究集会参加者の託児支援に関する経費が必要な場合は、申請書作成時に「必要な消耗品等」欄に入力してください。
- ⑦ 印刷物の集録を作成する場合は、申請書作成時に「必要な消耗品等」欄に、その経費を明示してください（なお、集録作成は同一年度内に限るものとします）。

8. 研究報告書

本研究所は大学附置の共同利用・共同研究拠点の研究所であり、本共同研究は、共同利用・共同研究拠点として重要な役割を果たしています。研究所のホームページ上でも公開します。採択された集会については、集会終了後、JROISサイトを通して提出期限までに報告書の提出手続きを完了させてください。

- ① 「06）研究集会」の報告書（別紙様式06-1：エクセル形式、別紙様式06-2：ワード形式、別紙様式06-3：エクセル形式、別紙様式06-4：エクセル形式）を作成し、Zipファイルにまとめてアップロードしてください。別紙様式06-2は、図表等を含めてA4サイズ1-2枚程度になるように作成してください。提出原稿は、製本用原稿としてそのまま公開されます。別紙様式06-3は参加者集計表、別紙様式06-4は参加者名簿です。
- ② 報告書の提出期限は、2027年3月31日とします。
- ③ 期限までに報告書が提出されない場合、原則として翌年度の採択は取り消しとなります。

9.問い合わせ先

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学

研究協力部研究事業課（研究所事務部内サテライト）

TEL : 052-789-4508

e-mail : k-kyoten_at_t.mail.nagoya-u.ac.jp

（_at_は@に書き換えてください）